



加古川観光大使・ラジオパーソナリティ
谷 五郎 さん

軽快な語り口でお馴染みの谷五郎さん。
加古川観光大使も務めておられる谷さんに、
加古川の魅力とこれからを伺いました。

「加古川の魅力」 まず市民から知って

健康の秘訣はウォーキング!

高砂で生まれ、加古川に移り住んで約30年、ラジオ関西やBANBANラジオなどのパーソナリティとしての仕事を中心に、音楽活動や講演などもしています。今年には新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベントは中止、ステイホーム期間中は料理や掃除、読書などをして過ごしていました。

ウォーキングは約20年続けており、観光大使として取材を受けると「お勧

めの場所やコースは？」と聞かれますが、歩きやすい安全なコースを歩いているので・・・。夏は暑いから新幹線の高架下とか(笑)。目的地を決めて「今日は厄神駅まで」「天気がいいから形的まで行ってみよう」と歩くこともあり。そして帰りは電車です(苦笑)。健康のために歩いているのに無理は禁物ですから(笑)。1・2年の間に兵庫県の南北縦断もしたいなと考えています。その土地の景色や名物を楽しみながら歩きたいですね。帰りは電車かもしれません(笑)。

でも歩いていると「こんな場所があったんや」と思うことはよくあります。日岡山公園の北側にも直線の一本道がスツとあって、これもウォーキングならではの発見で、こうやって加古川の知られざる色んなものや場所が発見されていくのもおもしろいですね。

地元が喜ぶことを考えることが大事

以前にリスナーさんが編さんされた堺市の市史のような本を読んだんですが、一般的に知られている歴史だけではなく、地元の方だからこそ知る細かな記述があり、非常におもしろくて内容に引き込まれました。

加古川も、地元の方だからこそ知る歴史や逸話などを知ること、もって地元に着用を持ってもらえるようになるのではないのでしょうか。

私は加古川は都市部へのアクセスもよく、非常に暮らしやすく何事にも無理しなくてよい「サイズ感」がいいなあと思っています。私は観光大使ですから全国の方に加古川をPRするのが仕事ですが、私はまず、市民が加古川の「ええところ」を知るのが第一で、よそから来てもらうのはその次のステップだと思っています。「ここがいい、あれが美味しい」といくらPRしても、地元の方が「へえ、知らなかったわ・・・」ではダメだと思っんですよね。

「地元の人が喜ぶこと」。それがないとアカンと思っています。地元の人が自慢できること＝魅力を発信することが大切で、そこに知恵を絞らなければならぬと考えています。

以前、「哲学カフェ」というものに参加したことがあります。「デイバー(議論)」ではなく、相手の考えに反論せず受け入れてから意見を述べる集まりで「ああ、こういう意見もあるんやな」とじつと聞いていてもいいわけ、自分と違う意見を排除せず意見を交わし合うと、新たな気付きや発見があります。こういった機会がこちらで開催できるような街になれば、いろんなアイデアも出てきて、ますます魅力的な街になるのではないかと、そして様々な問題も違った視点から解決法を見出せるのではないかと思います。